

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年2月22日 (2018.2.22)

【公表番号】特表2017-508378(P2017-508378A)

【公表日】平成29年3月23日 (2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-550801(P2016-550801)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/401 (2015.01)

H 0 4 B 1/50 (2006.01)

H 0 4 B 7/08 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/401

H 0 4 B 1/50

H 0 4 B 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月10日 (2018.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器であって、

周波数分割二重 (FDD) ネットワークで動作するように構成されるトランシーバと、  
前記トランシーバに結合されるアンテナチューナと、

前記機器が受信モードで動作しているかどうか及び前記機器が第 1 の通信標準又は第 2 の通信標準で動作しているかどうかに基づいて、前記アンテナチューナを受信周波数及び送信周波数のうちの 1 つに選択的に同調するように構成されるプロセッサと、ここにおいて、前記プロセッサは、

前記機器が前記第 1 の通信標準で動作しているかどうかを決定することと、

前記機器が前記受信モード及び前記第 1 の通信標準で動作している場合、前記受信周波数及び前記第 1 の通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

前記機器が送受信モード及び前記第 1 の通信標準で動作している場合、前記送信周波数及び前記第 1 の通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

前記機器が前記第 1 の通信標準で動作していない場合、前記受信周波数及び前記第 2 の通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

を行うように更に構成される、

を備える機器。

【請求項 2】

前記トランシーバは、

モバイルデータモデム (MDM) と前記アンテナチューナとの間に結合される送信機と

、

前記 MDM と前記アンテナチューナとの間に結合されるプライマリ受信機と、

を備える、請求項 1 に記載の機器。

【請求項 3】

前記 MDM と前記アンテナチューナとの間に結合されるダイバーシティ受信機と、

前記 M D M と第 2 のアンテナチューナとの間に結合される第 2 の送信機と、  
前記 M D M と前記第 2 のアンテナチューナとの間に結合される第 2 のプライマリ受信機  
と、  
を備える第 2 のトランシーバを更に備える、請求項 2 に記載の機器。

【請求項 4】

前記トランシーバは、  
モバイルデータモデム ( M D M ) と前記アンテナチューナとの間に結合される送信機と

、  
前記 M D M と前記アンテナチューナとの間に結合されるプライマリ受信機と、  
前記 M D M と第 2 のアンテナチューナとの間に結合されるダイバーシティ受信機と、  
を備える、請求項 1 に記載の機器。

【請求項 5】

前記アンテナチューナに結合される第 1 のアンテナ及び前記第 2 のアンテナチューナに  
結合される第 2 のアンテナを更に備える、請求項 4 に記載の機器。

【請求項 6】

前記アンテナチューナは、前記トランシーバの送信機及び受信機に結合される、請求項  
1 に記載の機器。

【請求項 7】

前記トランシーバは、ロングタームエボリューション ( L T E ) モデム及びモバイルデ  
ータモデム ( M D M ) の 1 x モデムのうちの 1 つに結合される、請求項 1 に記載の機器。

【請求項 8】

第 1 の通信標準が 1 x 通信標準を備える、請求項 1 に記載の機器。

【請求項 9】

方法であって、

周波数分割二重 ( F D D ) ネットワークのユーザ装置 ( U E ) が受信モード又は送受信  
モードで動作しているかどうかを決定することと、

前記 U E が前記受信モードで動作しているかどうか及び前記 U E が第 1 の通信標準又は  
第 2 の通信標準で動作しているかどうかに基づいて、受信周波数及び送信周波数のうちの  
1 つに前記 U E のアンテナチューナを選択的に同調することと、

前記機器が前記第 1 の通信標準で動作しているかどうかを決定することと、

ここにおいて、同調することは、

前記機器が前記受信モード及び前記第 1 の通信標準で動作している場合、前記受信周波  
数及び前記第 1 の通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

前記機器が送受信モード及び前記第 1 の通信標準で動作している場合、前記送信周波数  
及び前記第 1 の通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

前記機器が前記第 1 の通信標準で動作していない場合、前記受信周波数及び前記第 2 の  
通信標準に前記アンテナチューナを同調することと、

を備える、

を備える、方法。

【請求項 10】

前記第 1 の通信標準は、1 x 通信標準であり、前記第 2 の通信は、ロングタームエボル  
ーションモード ( L T E ) 通信標準である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 U E が前記送受信モードで動作している場合、前記送信周波数に対して前記アンテ  
ナチューナを同調することは、前記 U E が前記送受信モード及び前記 1 x 通信標準で動作  
している場合、前記送信周波数及び前記 1 x 通信標準に前記アンテナチューナを同調する  
ことを備える、請求項 10 に記載の方法。